

平成20年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績1

事業者	団体名	特定非営利活動法人 とっとりフィルムコミッション	代表者	清水 増夫
	団体の主な活動	映画が文化的な意味を持つことを重視し、映画等のロケの誘致支援、映画祭、出前映画上映会等の事業を行い、多くの人々がロケ撮影、映画鑑賞会等に参加するとともに、映画関係者と交流し、映画を通して文化振興を図る。また、ロケ撮影による観光振興、経済効果を促し、地域の活性化に寄与する。		
事業内容	助成事業名	夜間中学長編記録映画『こんばんは』上映会		
	事業目的	①さまざまな理由で、夜間中学校に通う人々が年齢や国籍の違いを超え、助け合い、共に学ぶ姿を描いた長編記録映画『こんばんは』を鑑賞し、「学び」や「教育」の在り方を考える。 ②優秀映画(キネマ旬報ベストテン文化映画第1位、第1回文化庁映画賞文化記録映画大賞など多くの映画賞を受賞)の鑑賞機会を提供し、鳥取県の文化振興を図る。		
	事業の内容	～夜間中学長編記録映画『こんばんは』上映会～  		
	実施場所	鳥取市文化センター 多目的ホール	実施日	平成20年6月29日(日) 13時30分～15時05分
	対象者	一般市民	参加人数	61人
	事業実施による効果	戦争や貧困、病気などの理由で、昼間の中学校へ行けなかった義務教育未修了者が全国に170万人以上いることを確認した。 憲法と教育基本法が定めた「等しく教育を受ける権利」「等しく教育を受ける機会均等」を保障するための夜間中学が、全国にわずか35校しかなく、現実には救済措置がまったく対応されていないことを知った。 映画『こんばんは』を見て、献身的に指導する教師、真剣に学ぶ中学生に心を打たれた。 改めて教育について考えさせられた。		
	今後の活動の展望	平成20年9月20日(土)に第11回とっとり映画祭～ロケ地映画「絶唱」フェスティバルを開催予定。今後も自主上映活動を行っていきたい。		
費用	総事業費	105,984円	助成金額	46,000円

平成20年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績2

事業者	団体名	学び支援ネットinとっとり	代表者	西村 健二
	団体の主な活動	子どもの特質向上及び健全育成を通し、地域社会に貢献するため、会員相互の情報交換や、地域社会への貢献活動を行う。		
事業内容	助成事業名	おもしろ体感ゾーン		
	事業目的	子どもたちの健全な育成を図るための方策の1つとして、 ・子どもたちの理数離れ、学力低下を解消する。 ・子どもたちの国際理解を応援する。 ・子どもたちの集中力を高め、自ら考える力を培う。		
	事業の内容	①おもしろ実験コーナー (小5) 放射線を見る霧箱 (小6) 電気で遊ぼう ②おもしろものづくりコーナー 金属のキーホルダーづくり ③おもしろ計算・図形コーナー やや難しい問題、パズルに挑戦 ④おもしろふれあいコーナー カードやゲームを使ってネイティブと英語を話す体験		
		 		
	実施場所	湖山西小学校 (多目的ホール、パソコン室)	実施日	平成20年9月26日
	対象者	湖山西小学校5, 6年生	参加人数	延べ136人
	事業実施による効果	・子どもたちが実験を通して自然の不思議、楽しさを体感できた。 ・ものづくりを通して自らの手作りのすばらしさを体感できた。 ・おもしろ計算問題を考えることにより集中力の重要性、解いたときの喜びを感じることができた。 ・おもしろ図形問題を解く過程で、試行錯誤することの有効性を理解し、イメージすることの必要性を認識できた。 ・英語をネイティブとする外国人とのふれあいを通して、英語への関心を高めると共に、外国への興味を抱かせた。 ・地域と学校の協働により、新たな刺激を与えることができた。		
	今後の活動の展望	・毎年、子どもたちの学力、成長の促進につながるような、「教育ふれあいプラザ」(おもしろ体感ゾーン)を実施しつつ、中身をよりよいものに充実させたい。 ・新たな会員を募りつつ、活動の回数を増やしていきたい。		
費用	総事業費	133,762円	助成金額	107,000円

平成20年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績3

事業者	団体名	多言語国際交流サポート TIA	代表者	寺杣 すみれ
	団体の主な活動	在住外国人への生活情報の提供、通訳サポートなど、日常生活に係る支援を目的に、母子健康診断時などの通訳サポートや外国人に対する日本語指導を実施。また、市民と在住外国人との交流イベントを実施。		
事業内容	助成事業名	在住外国人と子供たちとの交流イベント		
	事業目的	子どもたちとその保護者が、在住外国人と触れ合い、コミュニケーションの大切さを学び、国際理解を深める。		
	事業の内容	(1)アメリカ、カナダ、中国、マレーシア、南アフリカ、ジンバブエ各国のブースを設け、伝統工芸や料理、その国の言語を学ぶ。 (2)白地図の色塗りにより、共同作業の楽しさと国旗への関心を誘う 		
	実施場所	鳥取ガスショールーム サルーテ	実施日	平成20年10月5日
	対象者	子どもとその保護者 及び一般市民	参加人数	110人
	事業実施による効果	外国人支援を続ける中で、多くの外国人が市民との触れ合いを求めていることが分かったが、今回のイベントはそのよい機会になった。各国のブースを設け、それぞれの国の文化や料理を体験することにより国際理解が深まった。		
	今後の活動の展望	子どもたちに国際理解を芽生えさせ、外国人、外国語に親しみを持ってもらう。		
費用	総事業費	126,195円	助成金額	100,000円

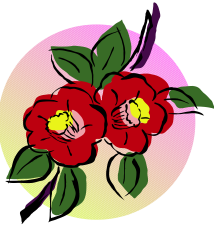
平成20年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績4

事業者	団体名	ねえよんでの会	代表者	奥村 暁美
	団体の主な活動	・0,1,2才の絵本リスト「ねえよんで」を作成 ・ブックスタートの読み聞かせボランティアとして協力 ・おはなし会の出前活動 ・研修会の実施(わらべうた、昔ばなし、パネルシアター、ストーリーテリングなど)		
事業内容	助成事業名	「あやす・あそぶ講座」と「絵本の大切さを学ぶ講座」		
	事業目的	子どもとどのように関わってよいのか分からない親が増えている現在において、「ふれあいあそび」を学び、楽しい子育ての手がかりとなる機会を設ける。 また、「絵本の大切さ」を学び、「読み聞かせ」をすることが、心が通い合う温かな親子関係の基礎作りとなることを子育て中の保護者に伝えるとともに、伝承普及できる人材を育成する。		
	事業内容	(1)藤田浩子氏の「あやす・あそぶ」の講座 1部:「あやすあそび」の実践(乳幼児の親子対象) 2部:「あやすあそび」の理論と実践(読み聞かせボランティア、保育士、保健師、介護士等) (2)山本淳子氏の「絵本の大切さ」の講座 1部:「絵本の読み聞かせ」の実践(0～2歳児親子対象) 2部:「絵本の読み聞かせ」の実践(3～5歳児親子対象) 3部:「絵本の大切さ」の理論と実践(読み聞かせボランティア、保育士、司書、民生委員等)   		
	実施場所	(1)鳥取市立中央図書館 (2)鳥取市中央保健センター	実施日	(1)平成20年5月22日 (2)平成20年10月5日
	対象者	子ども、保護者、 読み聞かせボランティア、 保育士、保健師、介護士等	参加人数	延べ326人
	事業実施による効果	「あやす・あそぶ講座」では、実際にあやし方を学び体験することにより、保護者が普段の生活の中に取り入れやすく、楽しく子育てをするうえでの参考となった。また、子どもと触れ合うことは、子どもに安心感を与え、豊かな心を育むことを学んだ。 「絵本の大切さを学ぶ講座」では、読み聞かせすることは子どもの心や言葉を育むということを学び、受講した多くの人が、それぞれの立場で伝承することに繋がった。		
	今後の活動の展望	子どもとの関わり方について、不安を持っている保護者が増えている現状を考えると、今回の講座は子育てにおいて大変参考になった。さらに、絵本というツールによって心が通い合う親子関係の基礎が築かれると確信した。 今後も子どもの心に届く絵本の読み聞かせを続けていくとともに、大切さを伝えていく人材を増やすため、研修会を重ねていきたい。		
費用	総事業費	130,281円	助成金額	100,000円

平成20年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績5

事業者	団体名	えんぴより ○日和	代表者	田村 賢治
	団体の主な活動	ふるさと鳥取を笑顔あふれる素敵な「家」のような場所とし、未来の子供たちへ繋げることを目的に、「鳥取しゃんしゃん傘踊り連帯星」を企画し、市民がしゃんしゃん祭りに参加できる場を設ける。		
事業内容	助成事業名	僕らが未来の子供たちのために出来ること		
	事業目的	しゃんしゃん傘踊りを通して、鳥取市の活性化を図る。		
	事業の内容	(1)しゃんしゃん祭りへの参加 (2)福祉施設への傘踊り慰問活動 		
	実施場所	(1)しゃんしゃん祭り (2)市内福祉施設	実施日	(1)平成20年8月9日 (2)随時
	対象者	児童、学生、社会人	参加人数	100人
	事業実施による効果	多くの方に「しゃんしゃん祭り」「鳥取」に魅力を感じていただいた。福祉施設の慰問で施設利用者との交流が図れた。		
	今後の活動の展望	よりたくさんの方にしゃんしゃん傘踊りを身近に感じてもらうため、年間を通じて傘踊りの活動を行う。		
費用	総事業費	300,642円	助成金額	100,000円

平成20年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績6

事業者	団体名	ボランティア湖山	代表者	進賀 正幸
	団体の主な活動	青島公園を公園らしくするため、遊歩道周辺の環境整備を行う。 特に平成17年から平成20年までは、竹林整備に力を費やす。		
事業内容	助成事業名	青島遊歩道湖岸整備		
	事業目的	青島公園を市民の憩いの場所にするために、遊歩道周辺の草木が繁茂した現状を整備して、遊歩道を明るく見通しよくする。		
	事業の内容	遊歩道沿いの草木の刈り込みを繰り返し、湖岸の水辺まで刈り込む。20年度は250メートルの区間を実施。    青島では数少ない常緑樹の「やまつばき」などの立ち木の保存もします。 早春に咲く「やまつばき」の赤い一輪の花は見るものの心を癒してくれます。		
	実施場所	青島公園	実施日	平成20年6月～11月
	対象者	会員、公園利用者	参加人数	11人
	事業実施による効果	草木の刈り込みにより、遊歩道が明るくスッキリとし、湖面や対岸が見えるようになったため、公園に訪れる方に喜んでいただいている。		
	今後の活動の展望	年次計画で整備を進めることにより、恵まれた環境を活かし、多くの市民が訪れる憩いの場としたい。		
費用	総事業費	141,070円	助成金額	100,000円

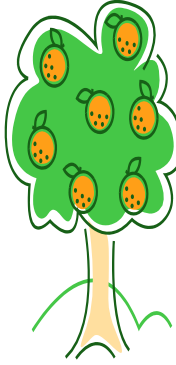
平成20年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績7

事業者	団体名	愛・やすらぎ川柳 実行委員会	代表者	大寺 龍雄
	団体の主な活動	愛・やすらぎ川柳を企画運営する。		
事業内容	助成事業名	愛・やすらぎ川柳		
	事業目的	鳥取県の花である二十世紀梨の花言葉「愛」をテーマにした川柳を幅広く募集し、伝統工芸品である因習和紙、特産品である二十世紀梨のPRを行うと同時に、和紙の里「青谷町日置地区」の活性化を目的とする。		
	事業の内容	・梨の花言葉「愛・やすらぎ」をテーマとした川柳作品を全国から公募し、2,719句の応募あり。 ・作品選考、表彰式 ・作品を和紙の短冊にして    		
	実施場所	あおや和紙工房	実施日	平成20年7月19日 ～8月31日
	対象者	市の内外を問わず一般	参加人数	約2,000人
	事業実施による効果	地元の川柳グループ挙げての校正作業、和紙事業者による和紙の提供、商店・個人からの協賛、梨農家からの商品の提供、和紙の梨の花作りボランティアなど、地域一体となった協力を得ることにより連帯感が生まれ、今後の事業展開のための礎となった。		
	今後の活動の展望	初年度の経験を活かし、次年度以降も円滑に事業を進めたい。事業を継続することにより、地域住民の連携をより拡大していきたい。		
費用	総事業費	302,405円	助成金額	178,000円

平成20年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績8

事業者	団体名	鳥取おやこ劇場	代表者	小濱 浩美
	団体の主な活動	・年5回の鑑賞例会(プロによる音楽、演劇、人形劇など生の舞台作品) ・キャンプ(夏・冬) ・講演会、ワークショップなど ・機関紙年5回発行		
事業内容	助成事業名	「地域で行う人形劇公演」		
	事業目的	いつもおやこ劇場の例会を楽しんでいるけれども運営に携わっていない会員を中心に、自分たちが企画と準備をして、会員でない地域のお友達や子どもたちに楽しい舞台を見てもらう体験を通して例会運営の方法を学んでもらい、同時に親子で舞台作品を楽しむチャンス会員外の方々に提供する。		
	事業の内容	(1)あ・ぶ・ぶ@人形劇場公演「こいぬとこねこはゆかいななかま」 (2)劇団潮流公演「パウワウ」 これらの公演を会員が準備段階から企画運営した。  		
	実施場所	(1) 美保南地区公民館 (2) パレット鳥取市民交流ホール	実施日	(1)平成20年6月14日 (2)平成20年9月29日
	対象者	おやこ劇場会員、一般市民、幼児から小学校低学年の親子	参加人数	延べ258人 (観客223人、スタッフ35人)
	事業実施による効果	地域公演を主催した会員からは、「自分たちでチケットを売って運営もすることで、公演の日がとても楽しみに思え、充実感があつた。」という反応があつた。観劇するだけでなく、運営する事の苦労や楽しさが分かつた。 また、観客からのアンケートには、「子どもも喜び、とても楽しめた。」という嬉しい反応が多かつた。生で見る演劇の楽しさを市民に伝えることができた。		
	今後の活動の展望	今まで舞台を見るだけだった会員が、運営に関わることによって、より積極的に例会運営に携わることが期待できる。会員外の親子に、人形劇や舞台劇の楽しさを知ってもらえたので、今後の会員拡大に繋げていきたい。		
費用	総事業費	316,535円	助成金額	100,000円

平成20年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績9

事業者	団体名	若葉台おやじの会	代表者	下地 正之
	団体の主な活動	年間行事:科学おもしろ館、きもだめし、ZAZEN会、お話し会 模型飛行機教室(昨年参加人数延べ800名) 防犯パトロール:子どもの安全確保のためのパトロール		
事業内容	助成事業名	ニコニコ みかんの森・大作戦		
	事業目的	若葉台造成前の姿を僅かに残す、通称「みかんの森」の整備を行い、年間を通じ、子ども達、地域住民とのコミュニティの場として活用し、健全な自然観、郷土愛を育むことを目的とする。		
	事業の内容	  背丈以上もある笹藪の撤去作業 → 夏の草刈を軽減するために人工芝シートを敷き詰めました。  約150個のみかんを収穫しました。 採ったみかんは参加者全員で分け、残りは公民館でジャムに加工しました。  		
	実施場所	みかんの森(若葉台)	実施日	平成20年5月4日～平成21年3月8日
	対象者	子ども、保護者、地域住民	参加人数	123人 (大人61名、子ども62名)
	事業実施による効果	みかんの木を、子ども達、地域住民と共に年間を通じて管理を行った結果、地元若葉台に対する郷土愛が高まると共に、開花、結実、収穫と今まで体験する事の出来なかった「成長過程」が体感出来、食に対する意識と自然観を育む事が出来た。		
	今後の活動の展望	若葉台小5年生の継続事業として、来年度以降も、おやじの会、学校、地域が一体となり活動する事となった。 地域住民にも認知度が高まり、その輪が広がりつつある。コミュニティの場として、今後期待出来る。		
費用	総事業費	147,141円	助成金額	117,000円

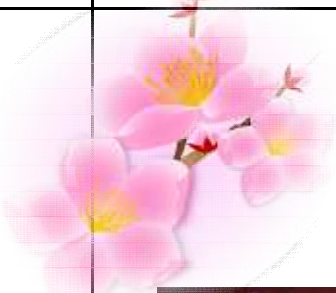
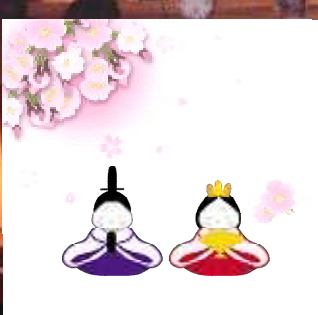
平成20年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績10

事業者	団体名	喘息患者会「いなば会」	代表者	生田 誠一
	団体の主な活動	・喘息デー「公開講演会」 ・患者交流会(3ヶ月に一度) ・レクリエーション反省会(年一度)		
事業内容	助成事業名	第16回 喘息デー「喘息治療講演会」		
	事業目的	喘息に対する正しい知識を普及し、喘息患者の喘息死を予防し、患者の生活の質の向上を図る。		
	事業の内容			
	実施場所	県民ふれあい会館 講義室	実施日	平成20年10月18日
	対象者	県内外の気管支の喘息患者及び家族	参加人数	91人
	事業実施による効果	後期高齢者の喘息死亡予防を最重要課題とし、有効な講演会を通し、その普及に努めている。正確な数値の掌握は出来ていないが、年々地道ではあるが向上しており、講演会に期待するところ、大である。		
	今後の活動の展望	「喘息は治る時代」 正しい薬物治療と自然治癒力の向上で、症状を克服する大切さを更に広く呼びかけていく。		
	費用	総事業費	助成金額	82,000円
		103,604円		

平成20年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績11

事業者	団体名	特定非営利活動法人 鳥取環境市民会議	代表者	土井 倫子
	団体の主な活動	○講演会及び出前説明会・フォーラム開催による学習啓発活動 ○「雨」をテーマとする環境問題とまちづくりの取り組み ○クリーンアップ活動		
事業内容	助成事業名	学習啓発事業		
	事業目的	環境問題とまちづくりに関する講演会と行政の出前説明会及びフォーラムを開催することにより、会員と一般市民の意識を高めて、地域の生活環境と地球環境の保全に努め、地域の活性化にも寄与することを目的とする。		
	事業の内容	 ※出前説明会 「林道と災害」 日時:平成20年6月5日(木) 18:30~21:00 会場:アクティブとっとり(さざんか会館2階) 説明:鳥取県林業試験場 森林管理室研究員 …他計7回 ※講演会 鳥取の「雨」と文化について考える第20回講演会 「現代に生きる和紙」 日時:平成21年2月21日(土) 13:30~16:00 会場:放送大学鳥取学習センター(講義室) 講師:(株)谷口和紙 谷口社長…他計5回  ※フォーラム 「温暖化フォーラム 農業・漁業の視点から」 (共催:NPO法人 氷河・雪氷圏) ※考える会 鳥取の「雨」と文化について考える会 「鳥取の気候地名について」 		
	実施場所	鳥取県東部	実施日	平成20年4月 ~平成21年3月
	対象者	当会会員と一般市民	参加人数	計307名
	事業実施による効果	温暖化フォーラムに関しては、鳥取大学や鳥取環境大学も特集の講座を設けるなど、温暖化に関するイベントが目白押しの年となり、注目度が少し落ちてしまった感はあるが、最も影響を受けやすい農業・漁業に焦点を絞った内容として、出前説明会での事前学習と併せて、学びを深めることができた。		
	今後の活動の展望	今年度も活動の基礎知識を得るために講演会と出前説明会を開催してきたが、広報不足もあり参加者の減少が目立った。最近では、土日ごとに様々な講演会やシンポジウムが開催されるようになってきており、一NPOが開催することが困難になってきている。 今後は、大学の先生方による講演会などは大学や自治体に任せ、よりきめの細かい身近な問題や特異な分野に限定して、出前説明会等を活用して会員と一般市民に環境の保全とまちづくりに関する学習啓発の場を提供し、活動の原動力として社会に貢献したい。		
費用	総事業費	168,328円	助成金額	100,000円

平成20年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績12

事業者	団体名	鳥取朗読の会	代表者	八百谷 和子
	団体の主な活動	・毎月2回、わらべ館にて朗読ボランティア ・音訳テープの作成 ・平成19年6月19日『朗読の日朗読会』をわらべ館にて開催。 ・平成20年3月3日市民活動促進事業として『朗読に親しもう～雛がたり～』をわらべ館にて実施。		
事業内容	助成事業名	朗読会『雛がたり』		
	事業目的	① 朗読に対する市民の認識を高めたい。 ② 日本固有の伝統行事ひな祭りの素晴らしさを認識し、地域や家庭に対する愛情・絆を深める契機とする。 ③ 会員の朗読技術のレベルアップ		
	事業の内容	   		
	実施場所	わらべ館 イベントホール	実施日	平成21年3月3日 (午後&夜、2回実施)
	対象者	朗読に興味を持つ鳥取市民	参加人数	主催者を含め約130人 (昨年より80人増)
	事業実施による効果	① 事業が新聞で報道され、広く市民に朗読会の様子が伝わった。 ② 朗読会には約130人のお客様(昨年より80人増)が来場し、回収したアンケートから来場者に満足して頂けたこと、来年度の実施を求める声を聞くことができ、会員のモチベーションが上がった。 ③ 二回目の開催ということで、朗読会開催準備・会員相互の連携がよりスムーズに行うことができた。朗読会開催への意識・技術が向上した。 ④ 朗読技術、朗読作品選び・舞台装飾、等の技術が向上したことにより、「朗読会としてのレベルが更に上がった」とお客様に評価して頂けた。		
	今後の活動の展望	★アンケート結果からも、可能であれば、来年度も「雛がたり」を開催したい。 ★他団体とも協力し、多くの市民に朗読を知って頂く機会を増やしていきたい。 その他の朗読会予定 ☆3/29(日) 鳥取市用瀬町 流しびなの館にて朗読会「雛がたり」を開催予定。 ☆6/19は朗読の日。「Century朗読会」をとりぎん文化会館小ホールで開催予定。初めての有料朗読会。		
費用	総事業費	133, 332円	助成金額	98, 000円

平成20年度市民活動促進助成金交付事業 事業実績13

事業者	団体名	山王さん周辺活性化協議会	代表者	竹内 房男
	団体の主な活動	美しい湖山池、山王さんの恵まれた自然と歴史、文化を尊重し、子孫に伝えていくとともに多くの人に開放し、理解していただく。		
事業内容	助成事業名	山王さん周辺の案内板と看板の設置		
	事業目的	因幡の守護所、山名氏の城跡を多くの人に知って頂き、歴史的価値を後世に伝える。		
	事業の内容	因幡民談記載の布勢城の図を古墳前広場に設置  古墳前広場までの見取り図 東岸お花畑公園北駐車場に設   H21.3.23 日本海新聞掲載		
	実施場所	山王さん古墳前広場 東岸お花畑ゾーン北駐車場	実施日	平成20年6月20日 ～平成21年3月10日
	対象者	会員相互で実施	参加人数	20人
	事業実施による効果	- 平成21年3月23日の日本海新聞でも掲載され、広く県内の方々にも紹介できた。 - 整備、安全柵、防犯灯、水道等を設置して市民の利用価値が高い。 - 付近の住民にも喜んでもらえ解りやすいと評価してもらっている。 - 四月初めの桜の頃は来訪者が多く歴史と文化に寄与ができる。		
	今後の活動の展望	当地周辺は、現在の鳥取城に中心が移るまでは因幡の中心で栄えてきた歴史的な場所であるが、あまり知られていない。私達の活動が次世代に少しでも記録として伝えられればと考えている。 次は、少雨時でも休憩できる東屋的なものを設置できればと検討中である。		
費用	総事業費	267, 150円	助成金額	200, 000円